

加茂市



議会だより

第138号

平成15年7月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp



下条川ダム湖畔

〈主な内容〉

- 一般会計補正予算を可決 …… (2)
- 常任委員会の審査から …… (3)
- 一般質問に12人が登壇 …… (4)
- WTO農業交渉など採択 …… (7)
- 議決状況一覧表 …… (8)

降りしきる雨のなか、思い思いの場所で、太公望たちが釣り糸を垂らしていました。

一般会計補正予算を可決

中小企業金融対策費など二千万円増額

六月定例市議会は、二十日から七月一日まで会期十二日間で開かれました。

この定例会では、各会計補正予算、条例の改正など市長提出議案十四件を慎重に審議の結果、監査委員の選任については不同意とし、そのほかすべて原案可決、同意しました。

また、議員提出の意見書四件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計は、二千五百四十万四千円を増額し、予算の総額を百三十四億一千七百五十四万四千円とするものです。

歳出の主なものは、中小企業金融対策費千三百四十万四千円、私立認可保育所費四百四十一万二千円、中国ツアー市へのS

ARS対策事業支援金五十万円などを増額し、下水道事業特別会計繰出金二百六十三万円を減額するものです。

国民健康保険特別会計は、六十九万九千円を増額し、予算の総額を二十二億七千二百六十九万六千円とするものです。

歳出の内容は、総務管理費六十九万九千円の増額です。

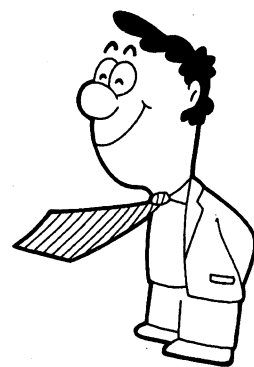
老人保健特別会計は、四千七百九十六万八千円を増額し、予算の総額を三十億九千七百三十三万四千円とするものです。

歳出の主なものは、平成十四年度支払基金交付金等の精算に伴い、諸支出金四千七百九十六万八千円を増額するものです。

下水道事業特別会計は、一億二千三百七十七万円を増額し、予算の総額を二十四億四千七百四十五万三千円とするものです。

歳出の主なものは、長期債元

6月定例会



地方債の補正は、公営企業金融公庫からの借入金のうち年利率七・〇%以上のものについて借換えを行うもので、その限度額等を定めるものです。

条例改正

手数料条例の一部改正は、住民基本台帳ネットワークシステムの

第二次稼働として、住民基本台帳カードの交付手数料を一件当たり五百円に定めるものです。住宅新築奨励条例の一部改正は、公共事業によらない一般の併用住宅も、自ら居住する部分を対象とするため、所要の改正をするものです。

市道路線

地元の要望等により、市道路線の認定及び変更をするものです。

吉田助役再任に同意

定例会初日の本会議で、六月二十六日に任期満了となる助役に、吉田淳二氏(新栄町、66歳)の再任を同意しました。

人事

また、同じく六月三十日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に、桑原勇策氏(穀町、77歳)の選任を同意しました。

なお、議会選出の監査委員に高橋禧雄氏を選任することについては、投票の結果、不同意となりました。

7月臨時会

七月二十二日に臨時市議会が開かれました。市長から提出された議案は一般会計補正予算で、原案可決されました。



景気低迷型御中元 羽生 六男

定例会日程

20日	本会議
23日	本会議
24日	本会議・連合審査委員会
25日	産業建設常任委員会
26日	社会厚生常任委員会
27日	総務文教常任委員会
30日	議会運営委員会
7月1日	本会議

委員会の審査から



各常任委員会に付託された議案、請願については、6月25日から6月27日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

六月二十五日に委員会を開催し、最初に市道路線等の現地視察を行った後、住宅新築奨励条例の一部改正など付託された議案六件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、WTO農業交渉における日本提案の実現を求める請願など二件については、紹介議員の説明の後、審査を行い、いずれも趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

六月二十六日に委員会を開催し、手数料条例の一部改正など付託された議案四件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

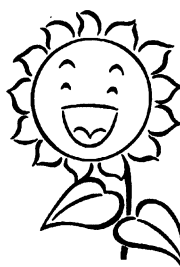
総務文教常任委員会

六月二十七日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案二件について、説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、

全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、教育基本法の見直しについて慎重な対応を求める請願など二件については、紹介議員の説明の後、審査を行い、いずれも趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

議員表彰



北信越と全国市議会議長会から永年在職議員として表彰された、佐野正三良議員の表彰状伝達式が定例会初日の開議に先立って行われました。

【特別表彰】

◎議員在職二十年以上
佐野正三良



表彰状を受ける佐野議員



産業建設常任委員会の現地視察（6月25日）

医療問題特別委員会

五月臨時会で、新たに医療問題特別委員会が発足しましたが、この委員会は正副委員長を含め九人の委員で構成されています。去る、七月七日に初めての特別委員会が開催されました。加茂病院の医師不足、救命救急体制の問題など、地域医療の抱える課題が多くあります。今後は、それらの現状の把握と資料収集を行いながら、関係機関への陳情や申し入れなどを行うこととなります。

9月定例会

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。市議会は、誰でも傍聴できます。

一般質問も行われます。このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な審議機関です。

次定例会は、九月ですが、傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について

4、記者席8の合計52席となっています。

公共施設の維持管理について

議員 保 井 高 友 政 友

質問 ① 加茂市の各施設には、最新の設備もあるが、改修が必要なものもある。上下水道や斎場・ごみ・し尿処理施設の維持管理についてどのような措置を行っているか聞きたい。

答弁 ② 災害は忘れた頃にやってくると言われるが、加茂市も信濃川地震帯の上にあると聞いている。市の災害対策は万全と思うが学校施設などを含めた具体的な地震対策や災害対策を聞きたい。

答弁 ① 水道施設は既存の施設を大切に利用することを基本

に維持管理を行っていく。下水道施設の維持費は、今後相当長期にわたり特に問題はない。清掃センターの焼却炉は、十二時間運転を今年から十六時間運転にしたが、今後も私の持論である「焼却炉飛行機説」に従って今後も維持管理していきたい。

② 市の防災計画では応急措置の円滑化を図る点に重点においている。いざというときは、で

道路・水路・側溝等の新設や改良について

議員 大 関 勝 正 社 民 党 市 民 連 合

質問 ① 市長の公約から「地方分権の時代」を削除した意味と、政府の「三位一体」改革について市長の見解はどうか。

答弁 ② 知的障害者援護施設と西小

きただけ早く自衛隊に来てもらうことが肝要であると考えている。

なお、学校等の施設は、建築基準が強化された昭和五十六年以前の建物が大部分で、補強の必要があるが、一校四億円ないし十億円くらいかかり、市の負担が三分の二になる。地方切り捨ての小泉内閣のもとでは補強工事は不可能なことである。

置くとあるが構想を聞きたい。

③ 天神林上条線整備の今後の見通しを聞きたい。また、下条中村地内の県道の消雪パイプの設置を要望する。

④ ごみ問題にどのように対処するのか。また、ごみの減量化、資源・ごみへの対応について考えを聞きたい。

三期目に臨む市長の政治姿勢について

議員 星 野 昭 吾 社 民 党 市 民 連 合

質問 ① このたびの市長選挙で、無名の対立候補が約六千七百票を獲得したことは、現職市長に対する批判票の現れと見られるが、市長の見解を伺う。

② 西小学校の建設、知的障害者援護施設の建設、情報公開条例の制定、温泉のパイプ詰まりの故障、広報「かも」の発行の

⑤ 道路・水路・側溝等の新設や改良の要望実現には予算の増額見直しが必要と思うがどうか。

答弁 ① あえて事柄を複雑にしてごまかして、地方へよこす金を減らすたくらみである。

② 知的障害者援護施設は手をつなぐ育成会と構想を検討していきたい。西小学校は念頭に置いておく。西施設とも第三平成園の後にならざるを得ない。

③ 今年度県において法線変更を含めた修正設計等を予定している。消雪パイプの設置には、井戸の掘り替えが不可欠であり県は調査を予定している。

④ ごみ問題は、常に何が真であり、何が虚偽であるかの判断のめこの確に対処していきたい。

⑤ 予算の総額は限られている。少しづつでも推進してゆくことが大切で、時間がかかる場合もある。

詳しくは会議録で

六月定例会の会議録は、八月下旬に発行予定です。

議会図書室、図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でごらんください。

② 西小学校、知的障害者援護施設の建設は、第三平成園を建設後、機をとらえて建設したいと念願している。情報公開条例の制定は「よもやま話の日」が円滑に機能することが確実に担保されるころまで検討が達しておらず、条例の制定に至っていない。温泉の揚湯管の詰まりを取り除く作業は六月六日貫通作業を終え、事後の措置と揚湯試験を行い、六月十九日から浴槽への温泉の給湯を開始した。

広報の発行については、重要なことは配布の日よりもその内容であると思っている。

③ 議員の中から選任する監査委員の選任は、議会が選出するのではなく、市長が選んで市議会の承認を得て任命するものと認識している。

市政の内容を聞く

一般質問

六月定例会では初日

から十二人の議員が

一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を問いただ

しました。その要点

をお知らせします。



6月定例会本会議

小規模工事契約希望者登録制度の創設を

日本共産党 大桃 一明 議員

質問 ① 長引く不況により仕事がない小規模事業者について、指名競争入札参加資格審査申請のない業者でも、仕事を希望する業者に登録してもらい、受注の機会を与えることが必要と考えるが、市長の考えを問う。

② 加茂市の特別養護老人ホームへの入所申し込みが多くなっているが、市では入所希望者への入所における透明性、公平性をどのような指針で実施しているのかを問う。

答弁 ① 現在、各事業課で発注することができる小規模な工事修繕の中には、入札参加資格に関係なく発注箇所の地域に住所をもつ業者に優先的に参加機会を与えるように配慮しているところであるが、提案の登録制度については、時期的に難しい問題もあるが検討してみたい。

② 施設入所に関する運営基準の見直しは、昨年八月に国において行われ、努力義務として施設の入所の判断基準、入所の決定手続等が定められている。しかし、加茂市は介護保険制度の開始当初から、本人の状態

家族の状況等を考慮して、最も緊急度の高い方を施設に対し紹介するという手法を取ってきた。

市長の公約について

政友クラブ 安武秀敏 議員

質問 ① 市長の公約は十二項目あるが、まず日本一の福祉について、日本一の点について聞きたい。次に知的障害者援護施設の土地の確保はどうなっているか。また児童福祉日本一というがどう日本一なのか。

また、行き届いた教育とはどのような教育か。西小学校の建設を前進させたらどうか。

日本一の商工業支援でまるよし五番町店についてはどう進行しているか聞きたい。

次に日本一の農業支援で家畜堆肥処理施設の内容を聞きたい。

② 学校給食でも牛肉使用を再開してはいかがか。

答弁 ① 現在、加茂市が実施している充実した各福祉施策並びに各福祉施設は、日本のトップ

今後とも、在宅介護・看護支援センターが決定する現在の方式で入所を調整していきたい。

プクラスの福祉だと思っている。次に知的障害者援護施設の土地は確保している。また児童福祉についても、県下二十市中最低保育料はじめ各施策は日本のトップクラスであると思っています。

また、行き届いた教育については、実学的な面とともに、心の教育を重視するということを掲げている。西小学校のボーリング工事については、いまの国の地方締め付け政策のもとでは延期せざるを得ない。

まるよし五番町店についてはもう少し時間をもらいたい。家畜堆肥処理施設は着手の機をみている。

② 牛肉使用の再開は早急に調整に入りたい。

市長の施政方針と12項目の公約について

市政クラブ 安中利男 議員

質問 ① 小池市長は批判を浴びながらも、見事三期目を大差をもって当選した。私が考えるに批判は批判として、批判を浴びるようなことがあってこそ、逆に重みがあるのではなからう

かと思っている。ついでに、市長が今後どのような形で市政をやっていくのか、市長の施政方針と市長の十二項目の中身について聞きたい。

二項目を掲げることが基本として、その根本とするところはその第一項にある。すなわち、市民中心の真の民主的市政の推進と市民の皆様お一人お一人を大切にし、お幸せにする市政の推進である。そのため市民と市長のよもやま話の日を活発に開催することとしている。私はこれを、よもやま話路線と自ら呼んでいる。そして、市民一人の利益と市全体の利益が相反するときは、

地域における交流の場の提供を望む

無所属 田沢弘一 議員

質問 ① 市の各地区の集会場等を利用して、高齢者の方々が気軽に集まっておしゃべりや簡単なレクリエーションができる地域における交流の場の提供が必要と考えるが、その実現に取り組むよう要望する。

② 郷土に誇りと愛着を持ってもらうことや商店街の活性化などのため、小京都加茂八景を選定して活用したらどうか。

③ ごみのリサイクル対策について、特にペットボトルの収集に取り組む必要があると考えるが市長の見解を伺いたい。

答弁 ① 当市は市内各所にコミュニティセンターをはじめ、ゆきつばき荘やかも川荘を設置しており、平成十四年度では約

市民一人の利益を優先することが私の公約であり、また、悪平等の毛沢東主義ではなく、幸せになれる人から幸せになれるという鄧小平主義でいくことを公約しているところである。

以上が施政方針の根本であるが、さらにこれを敷えんしたのが、選挙公報の冒頭に掲げた十一項目である。公約は常に掲げておき、そして市民や市議会の考えを承りながら頑張っていくたい。

二十九万六千人の利用があった。あわせて加茂美人の湯も開設したので、これらも市民の交流の場として利用していただきたい。なお地域のお茶の間の開設については今後の課題としたい。

② 小京都加茂八景の選定については、選ばれたところと、選ばれないところとの間に不公平が生ずる心配がある。加茂市全体がすばらしい景観のもとにあるので、そのうち八つだけ特定するとかえって先入観を与えてしまう恐れもある。

③ 今やダイオキシン類が出ないペットボトルの分別収集に金をかけて偽善的に行ってみても、意味あるものにとらえない。

人口増加政策と商店街の活性化について

議員 豊野 広政

質問 ① 結婚、出産子育ての喜びを共有するため次のことを提案したい。

◆子供三人以上の同居家族に電車やバスの割引◆一年以上の育児休暇提供企業に融資及び税の優遇◆公共事業入札の参加登録審査項目に男性社員の育児休業取得率を加える◆国に対して出産増加の実効を上げた市町村に対して交付税で優遇するよう求める。などである。

② 商店街の活性化策として、次のことを提起したい。

◆雁木内の一部をフリーマーケットゾーンとして提供する◆シャッターに絵をかいたらどうか。

答弁 ① 各提案はもっともな提案と思うが、問題はそれを実行するための金であり、小泉内閣の二年間で国から来る市町村が自由になる金は法外に減らされておき、今まで到達した市政の水準を守ることさえ容易でない実情にある。

② 昨今のリサイクル活動の定着等により、各地でフリーマーケットが盛んに開催され、加茂市の商店街でも五月と十月のイベントで大々的に開催している。

なお、フリーマーケットの機会を増やせるかどうか商店街に相談してみたい。閉店時の憩いの

情報公開条例の制定と商店街活性化について

議員 佐野正三良

質問 ① 加茂市の情報公開については、他市以上の日本一の情報公開条例を制定できると思うが市長の考えを尋ねる。また本年八月の住基ネット本格稼働にあわせた市の取り組みについて聞きたい。

② 経済の再生と商店街の活性化については、まず優良企業の誘致と雇用の場の確保にどのような決意と具体的方針をもっていか伺いたい。また、四九の市をアーケード内に移転できないか尋ねる。

③ 下条川ダムでフナの浮遊が確認されたが、水質浄化や環境保全策等について聞きたい。

答弁 ① 情報公開条例の制定については、市民と市長のよも

質問 ① 長引く不況、停滞する産業、悪化する雇用環境等、深刻な問題が山積している中、いかにして市の地場産業を再生し活性化していくか、商工会議所と連携して具体的な成果につなげてほしい。

場としてシャッターに絵をかくことについても商店街に聞いてみたい。

やま話の日は円滑に機能するところが確実に担保されるところまで検討が達しておらず、条例の制定には至っていない。次に住基カードの独自利用について国は十五項目の利用例を示しているが、本市は当面、全国の実施状況を見てからにしたい。

② 大不況の中で企業誘致を行うことは一般に無理であり、むしろ加茂市から企業が逃げていかなないようにし、倒産を食い止める政策が重点である。また四九の市を中心市街地へ移転させることについては実現に向け商店街の方々を中心に相談したい。

③ 溶存酸素濃度調査を行った結果は問題なしであった。繁殖期に見られる生態である。

② 加茂ブランドの家のモデル住宅の開発、売り出しを政策的に誘導してほしい。

④ 加茂で小泉内閣打倒大会を開いたらどうか。

答弁 ① 全国的に地場産業は苦戦を強いられており、もう限界である。小泉内閣のひどい政策のもとで、政府の戦略的失敗を市長や商工会議所が戦術的に取り戻すことは至難なことであることを率直に認めた上で行動することの方が現実的である。

② この大不況の中、一般住宅の建設が落ち込み、建築業界全体の大打撃を受けている状況のもとでは、慎重に取り組む必要がある。

③ 十五年度に臨時財政対策債を含め、実質的な地方交付税をどの程度加茂市へよこすかは、七月ごろの決定になる予定だが、事業費補正以外は引き続き削減の達しが既に来ている。

④ やれる状況なりと判断すれば、即座にやるべきだと思っ

小池市長の政治姿勢について

議員 森山 一理

質問 ① 市長選挙で新人が獲得した六千七百八十四票の批判票と考えられるであろうという票をどのように受けとめているか尋ねる。

② 今後も市町村合併は調査研究をすべきと考えるがどうか。

③ コミュニティセンターの市外来館者は別料金が良い。

④ 加茂文化会館のほかに収容人員三百人前後の中ホールまたは劇場の建設はできないか。

⑤ 四十代、五十代の方々で定職についていない、職を求めている人が多い。一方その年代でパートナーに恵まれない人が多

い、市で何か策はないか。

⑥ 助役を一般公募制にしたかどうか。

答弁 ① 相手候補に投票した

体が大打撃を受けている状況のもとでは、慎重に取り組む必要がある。

③ 十五年度に臨時財政対策債を含め、実質的な地方交付税をどの程度加茂市へよこすかは、七月ごろの決定になる予定だが、事業費補正以外は引き続き削減の達しが既に来ている。

④ やれる状況なりと判断すれば、即座にやるべきだと思っ

人は、なぜそうになされたかというようなことを申し上げるかと自体、市民に失礼である。

② 新潟県だけが全国第二位という合併論にとりつかれた県となっていて、このままでは毎年六百億円もの金が県にこなくなる都市の周辺部は過疎化して没落することになる。

③ 七十歳以下はみんな百円で楽しく過ごしていただくのが良いと思っ

④ 将来の検討課題である。

⑤ 今の時代これが一番難しい問題となっている。市営の結婚相談所の開設も考えてみるのが具体的な案まで到達していない。

⑥ 行政の何たるかを熟知している市長は、助役公募などやらないものである。

新潟県地方自治法務局加茂出張所の統廃合について

市政クラブ 安田憲喜 議員

質問 ① 国は行政改革の一環として、全国八百の登記所を五百に統廃合を進めている。新潟県地方自治法務局加茂出張所も一方的に三条支局への統合の準備が着々と進められてきたことは、管轄区域内の住民を初め加茂市議会を無視した暴挙であり怒りを禁じえない。加茂市においても統合に反対し、存続を求める要請行動を行ってきた。結果として法務省は統合を六月十六日に行うとしていたが七月二十八日まで延期する旨通知があった。今後の取り組みについて市長の考えを聞きたい。

答弁 ① 私は五月九日付で法務大臣宛に強く抗議するとともに、少なくとも今年度末まで冷

WTO農業交渉の日本提案など採択

六月定例会市議会で受理した請願は四件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。



4件

採択したもの

- ☆意見書提出を求める請願
- ・WTO農業交渉における日本

提案の実現を求める請願（にいがた南蒲農業協同組合代表理事組合長）

・WTO農業交渉への意見反映を求める請願（食とみどり、水を守る新潟県民会議議長）

・教育基本法の見直しについて
慎重な対応を求める請願（新潟県教職員組合三南支部執行委員長）

・三十人以下学級の実現をはじめとする教職員定数増、義務教育費国庫負担制度の現行維持等を求める請願（新潟県教職員組合三南支部執行委員長）

意見書4件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書四件を可決し、関係機関へ提出しました。

◎WTO農業交渉における日本提案の実現を求める意見書
生産者が将来に希望を持って農業を営めるよう、下記事項を要望する。

1. WTO農業交渉について
(1) 現行モダリティ案を撤回させ、今後の交渉の土台とさせない。
- (2) アメリカ及びケアンズグループの主張する関税の一律的な削減方式を拒否する。
- (3) ミニマム・アクセス輸入米の廃止又は輸入量の大幅削減を実現する。

記

- (4) 交渉課題について、国民の理解促進対策を展開する。
- (5) AMS（助成合計量）削減の是正と「緑の政策」の要件緩和など規制を確保する。
- (6) 残留農薬基準は、各国の食生活の実態をふまえ規制強化できるような措置する。
- (7) 国際的な食料備蓄・援助機構の創設を主張する。

2. 自由貿易協定について

- (1) 我が国の食料自給率が低い現状や将来の食料への懸念を反映する。
- (2) 農林水産物は、国内関係品目に影響しないよう、関税以外の分野で支援を行う。

◎教育基本法の見直しについて
政府は教育基本法に「国を愛する心」などを加える法律を定めようとしているが、法の改正に関して、十分な国民的議論が交わされていない。国会への法案化を見送り、慎重な審議をおこなうよう要望する。

◎三十人以下学級の実現をはじめとする教職員定数増、義務教育費国庫負担制度の現行維持等を求める意見書
画一的教育からこどもの個性を大切にすること、きめ細やかな教職員配置が必要である。それを柱とした新たな「義務標準法」を制定し、必要な財源措置を講ずるとともに、義務教育費国庫負担制度を堅持するよう要望する。

見書

◎国と地方の税財政にかかわる「三位一体改革」に反対する意見書
「三位一体改革」の具体案は二〇〇六年度までに国庫補助負担金を約四兆円削減し、義務的事業削減分は全額、そのほかの事業削減分の約八割を国から税源移譲し、地方交付税は財源調整機能を縮小するとなっている。このことは削減対象の国庫補助負担金の八割が義務教育費国庫負担金など社会保障・教育関係であり、市民生活に直結することは避けられない。

このたびの具体案は、国と地方の役割分担に応じた税源移譲等による地方税財源の充実強化が図られておらず、国の財政危機を地方自治体と国民に転嫁するだけのものである。
政府においては、国庫補助負担金の削減と地方への税源移譲について見直しを図るとともに、地方交付税の財源調整機能と財源保障機能を堅持するよう強く要望する。

5月臨時会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
5	市議会委員会条例の一部改正	原案可決
市長提出議案		
33	専決処分(市税条例の一部改正)	承認
34	専決処分(都市計画税条例の一部改正)	〃
35	専決処分(国民健康保険税条例の一部改正)	〃
36	専決処分(特別土地保有税審議会条例の廃止)	〃

6月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
議案番号	件名	議決状況
6	WTO農業交渉における日本提案の実現を求める意見書	原案可決
7	教育基本法の見直しについて慎重な対応を求める意見書	〃
8	30人以下学級の実現をはじめとする教職員定数増、義務教育費国庫負担制度の現行維持等を求める意見書	〃
9	国と地方の税財政にかかわる「三位一体改革」に反対する意見書	〃
市長提出議案		
37	15年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決
38	15年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃
39	15年度老人保健特別会計補正予算(第1号)	〃
40	15年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃
41	手数料条例の一部改正	〃
42	住宅新築奨励条例の一部改正	〃
43	市道路線の認定	〃
44	市道路線の変更	〃
45	助役の選任(吉田淳二氏)	同意
46	監査委員の選任(高橋禧雄氏)	不同意
47	固定資産評価審査委員会委員の選任(桑原勇策氏)	同意
48	15年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決
49	15年度一般会計補正予算(第3号)	〃
50	15年度一般会計補正予算(第4号)	〃

7月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
議案番号	件名	議決状況
51	15年度一般会計補正予算(第5号)	原案可決

連合審査会

六月二十四日の本会議終了後に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案九件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

五月二十七日の臨時会で全員協議会が開かれ、専決処分の承

認について説明を受け質疑を行いました。

定例会中の七月一日に全員協議会が開かれ、追加議案について説明を受け質疑を行いました。

また、七月二十二日に月例全員協議会が開かれ、(仮称)加茂信濃川大橋と市町村総合事務組合の設立について説明がありました。



千川公園の大賀ハス

議会日誌

〈5月〉

- 7日 各派交渉会準備会
- 12日 各派交渉会準備会・各派交渉会
- 14日 各派交渉会
- 17日 各派交渉会
- 19日 各派交渉会
- 22日 各派交渉会・議会運営委

編集後記

新しい議会構成で、議会、委員会等の活動が始まりました。新たに発足した医療問題特別委員会も地域医療の諸問題に取り組み始めましたので、ご期待ください。

これから、夏本番ですが、程よく冷えたビールなどで喉を潤し、英気を養ってください。

〈6月〉

- 2日 議会だより編集委員会
- 12日 各派交渉会
- 13日 議会運営委員会
- 19日 全国市議会議長会(東京)
- 20日 定例会
- 30日 議会運営委員会
- 27日 臨時市議会
- 19日 新議員研修会

〈7月〉

- 1日 定例会
- 2日 北信越議長会特別委員会(七尾)
- 7日 医療問題特別委員会
- 17日 議会運営委員会
- 22日 臨時市議会
- 24日 月例全員協議会
- 24日 議会だより編集委員会
- 24日 医療問題特別委員会
- 24日 北信越議長会特別委員会
- 29日 中央要望(東京)
- 29日 三市議長会

次の定例会は 9月19日(金)から開催の予定です。